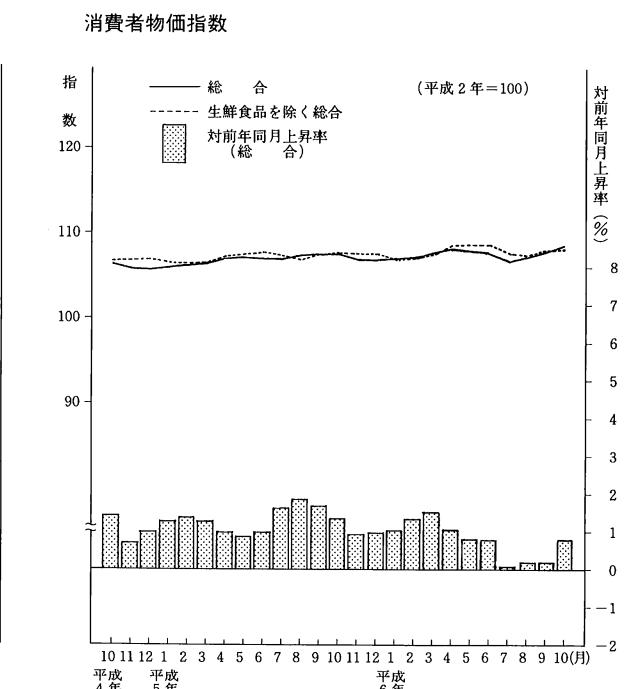
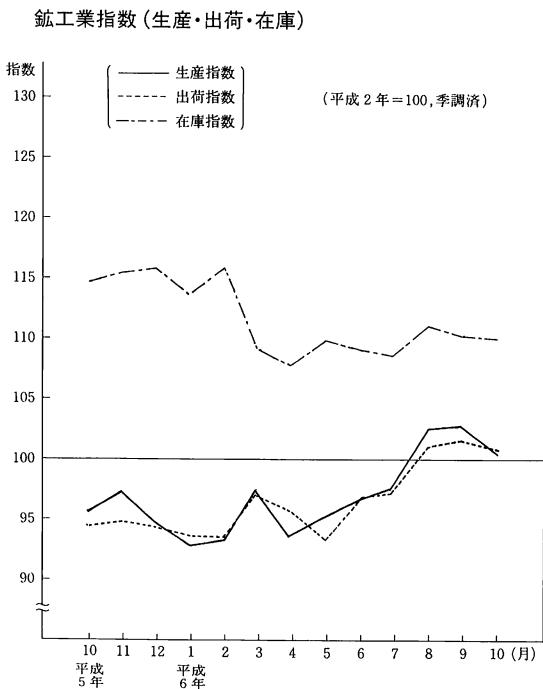
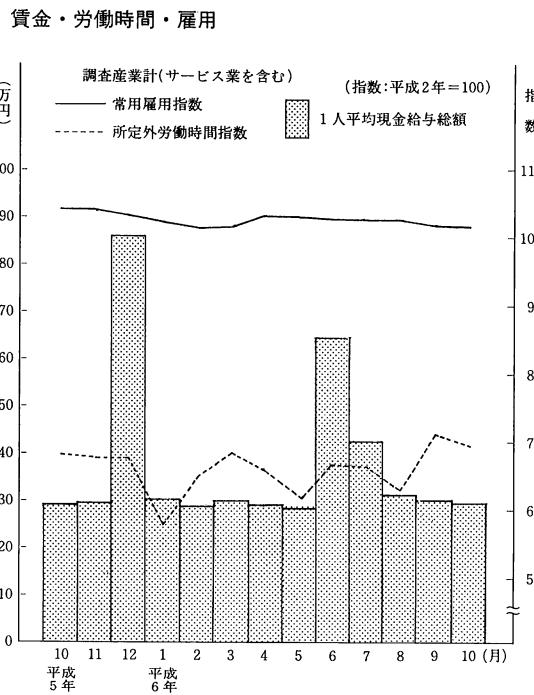
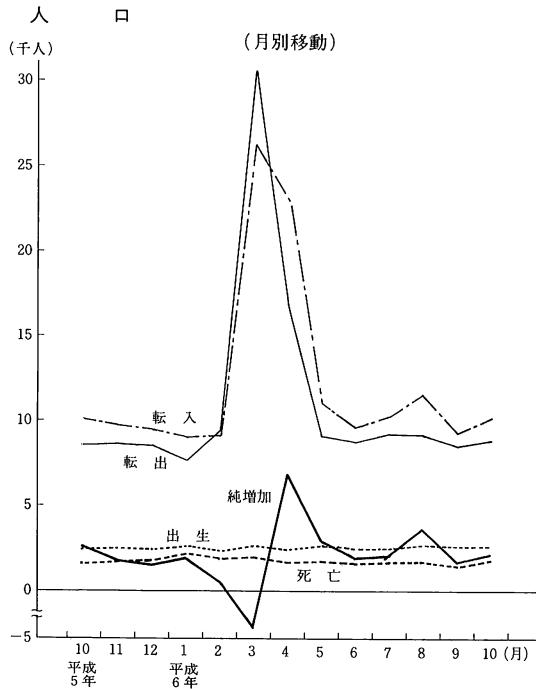


## ● 今月の主な動き

# 今月の主な動き



# 今月の主な動き●

## 主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

### ■ 人口(11月1日)

本県の人口は、10月中に2,075人増加し、11月1日現在で、2,951,138人(男1,475,609人、女1,475,524人)となった。

内訳は、自然動態で907人(出生2,531人、死亡1,624人)増加し、社会動態で1,168人(転入10,107人、転出8,939人)増加した。前年同月と比べると21,950人(0.74%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市40町村、減少が6市25町村、増減なしが2町村である。

世帯数についても10月中に1,484世帯増加し914,219世帯となった。

### ■ 賃金・労働時間・雇用(10月)

#### 1. 平均賃金の推移

10月の現金給与総額は、調査産業計で302,239円、対前年同月比2.9%増、このうち、きまって支給する給与は301,202円、対前年同月比3.0%増であった。また、このうち、所定内給与は273,190円、対前年同月比2.4%増であり、超過労働給与は28,012円、対前年同月比8.1%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比3.0%増であった。

\*この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

#### 2. 労働時間

10月の総実労働時間は、調査産業計で162.2時間、対前年同月比0.6%増であった。このうち、所定内労働時間は148.6時間、対前年同月比0.5%増、所定外労働時間は、13.6時間、対前年同月比2.2%増であった。

#### 3. 雇用の動き

10月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比1.5%減であった。

### ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)(10月)

本県における平成6年10月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が100.2、出荷が100.6、在庫が110.0で、前月比は、生産が2.2%の低下、出荷が0.7%の低下、在庫が0.1%の低下であった。

前年同月比(原指数)は、生産が4.6%の上昇、出荷が6.6%の上昇、在庫が4.1%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業、非鉄金属工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業、窯業・土石製品工業、化学工業等が上

昇し、精密機械工業、繊維工業、電気機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、建設財が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、耐久消費財等が上昇し、資本財、その他用生産財が低下した。在庫では資本財、鉱工業用生産財が上昇し、その他用生産財、耐久消費財等が低下した。

### ■ 消費者物価指数(10月)

平成6年10月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で108.2(平成2年=100)となり、前月比0.7%の上昇、前年同月比0.8%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……果物21.2%，野菜・海草8.9%，外食1.9%，乳卵類1.7%，肉類1.0%

今月の下がった主な項目……穀類4.8%，油脂・調味料2.3%

- 生鮮食品を除く総合は107.8となり、前月比もちあい、前年同月比は0.3%の上昇となった。

費目別指標 (平成2年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	108.2	0.7	0.8	保 健 医 療	103.1	0.0	0.5
食 料	108.5	2.1	1.7	交 通 通 信	99.2	0.0	△1.3
住 居	115.5	0.2	1.9	教 育	114.0	0.0	3.5
光熱・水道	102.8	0.1	△0.3	教 養 娯 樂	109.5	△0.4	0.6
家具・家事用品	99.3	△0.2	△2.5	諸 雑 費	104.4	△0.1	1.2
被服及び履物	115.3	0.5	0.5	生鮮食品を除く総合	107.8	0.0	0.3